

福智名物 方城すいとん

当地グルメで
まちおこし!

福智名物の
れん分け!

町とお店を
さらにPR!

メニューに加えて
魅力アップ!



販売店舗 大募集

炭鉱(ヤマ)の時代から愛され親しまれてきた「方城すいとん」は、福智町のご当地グルメとして定着しつつある貴重な地域の宝です。この「方城すいとん」を福智町から全国に発信し、まちを元気にするために「方城すいとん」をメニューに加えて販売する店舗を大募集します。



1 「方城すいとん」の販売店舗は、町内のお店であり、下記の「方城すいとん」の定義を守っていただければOKです。「方城すいとん」の材料および味については、お店独自の魅力を存分に活かしてください。「和」「洋」「中」など料理のジャンルも自由です。



2 「方城すいとん」の販売店舗となるお店には「のぼりばた幟旗」や「基本レシピ」をお渡します。なお、今回の募集に限り、入会金(1口3,000円以上)を免除いたします。年会費なども無料。将来的にチラシや加盟店舗マップなどの販促物やPRグッズを作成する予定です。

【方城すいとんの定義】

- (1) 季節の野菜を使った「具たくさん」な一杯
- (2) 食感にこだわった「すいとん」が入った一杯
- (3) 子どもたちにも愛される「優しい味」の一杯
- (4) 隠し味に郷土と絆への「愛」が込められた一杯

☎ 福智好いとん隊 (事務局: 役場 政策推進係) ☎ 22-7766

※ 詳しくはお気軽にお問い合わせください。



町長日誌

▼日常生活におけるテレビの存在は、今や欠かせないものとなっている。とは言え、子どもに対する教育的観点から、テレビは持たないという方針の家庭があるのも、ご理解いただけないのではないだろうか。▼圧倒的多数のテレビを有する人たちの活用方法は、まさに十人十色。情報源として積極的に活用する人もいれば、肩の凝らない番組を視聴して日頃のストレス解消を図ろうとする人もいるに違いない。また、無意識のうちにテレビのスイッチを入れ、画面に映し出される映像とともに、ぼんやりと時を過ごした経験は、どなたも一度くらいあるのではないかと。▼わたしは、サスペンスドラマが好きで録画をして、時間のある日にまとめて見るようにしている。登場人物の心理的葛藤や複雑に絡み合う人間関係の綾が垣間見えて、とても興味深く、仕事上でも参考にしているところである。もちろん、創作なのは割り引いて考えなければならぬが、ドラマを通して人間の素の部分を知るといふことは、恰好の教材だと思っている。▼先日、福智在住の作家・夏樹静子さんの著書をもとにしたドラマが放映された。タイトルは「風極の岬」。北海道の襟裳岬は「風極の地」と呼ばれているそうだが、その襟裳岬が主舞台となり、人にとって大事なものは何か——を問いかけるストーリーであった。これまでにじっくり思いを巡らせたことがなかったので、改めて、自分自身を振り返るきっかけにさせてもらったのは、お察しの通りである。

浦田 弘二